

毎 日 新 聞

難民支援

難民など過酷

な環境に置かれた世界の人々を支援する国際協力コンサート「クリスマス・オラトリオ」を聴く。チケット1枚の国際協力が12月6日、大阪市中央区城見1のいずみホールで開かれる。NGO「日本国際ボランティアセンター(JVC)」の主催。大阪での開催は15回目。収益はJVCを通じてアジア、中東、アフリカなどでの支援活動に使われる。

アジア、アフリカなど



本番に向け練習を重ねるバスカビルさん(中央)ら「歌声ボランティア」のメンバーたち

JVCは80年の設立。ダンなど10カ国・地で、東京に本部があり、域で農業指導や医療支援などを行っている。現在はインドシナ半島、アフガニスタン、パレスチナ自治区、ス

国際協力コンサート「クリスマス・オラトリオ」

年からは大阪でも毎年開催され、過去20年間で計約2億円の支援金を生み出した。ホテルは出演者の宿を、航空会社は移動のための航空券をそれぞれ提供するなど、協賛企業が多様な支援をするのが特徴で、JVC理事で同コンサート実行委員長のアイネス・バスカビルさん(70)は「たくさんの人や会社がある、自分のできるやり方で参加していることに大きな意味がある」と話している。

15年前からバックコーラス隊「歌声ボランティア」として参加している合唱団「コードリベット・コール」(大阪市北区)の奥野捷彦さん(66)は「参加することで、支援の現場への関心が持てるようになり、今ではやりがいを感じながら歌っています」と話している。

演目はバッハの「クリスマス・オラトリオ」で、主な出演者はライダル・ハウゲ氏(指揮、ノルウェー)、畑儀文氏(合唱指揮、テノール)など。午後4時開演。全席指定でS席1万円、A席5000円、B席4000円。

問い合わせは同コンサート事務局(03・3836・4108)。

12月6日、いずみホール

大阪市中央区